

平成 23 年 3 月 31 日

財団法人富山第一銀行奨学財団  
理事長 金岡 純二 殿

助成研究成果概要報告書

教育機関名 : 富山大学	助成金額 : 800 千円	
研究代表者 : 田尻 和人	所属 : 附属病院	職位 : 助教
研究題目 : 細胞チップシステムを用いた薬物性肝障害の病態解析と新規診断法の開発		

【研究概要】

我々は抗原特異的リンパ球を効率よく解析できる細胞チップシステムを開発している。一方薬物性肝障害はその発症機序も明らかでなく、診断方法も確立されたものはない。本研究では薬物性肝障害患者の末梢血を細胞チップを用いて解析し、薬物に応答して活性化する T リンパ球につき解析する。さらに活性化した T リンパ球の T 細胞受容体遺伝子の多様性につき解析し、T 細胞の認識する抗原につき検討する。

【成果要約】

本研究の実施にあたり、本研究計画は富山大学遺伝子解析倫理審査委員会にて審理し、承認された（遺認22-3、H22.6.3 承認）。細胞チップシステムはこれまで B リンパ球の応答を検出するシステムであったが、今回の研究に対応できるよう T リンパ球の解析方法、その検出条件につき検討した。その結果、3, 4 時間の刺激により、T リンパ球より検出されるサイトカインを細胞チップ上で検出することが可能であった。また本研究は、薬物に応答する T リンパ球の応答を解析し、薬物に応答する T リンパ球の抗原特異性を解析するものである。実際にチップ上での解析につなげるため、薬物刺激時間と、薬物刺激応答して分泌されるサイトカインにつき検討したところ、肝細胞障害型の薬物性肝障害症例において、CD8 陽性 T 細胞から薬物刺激によりインターフェロン $\gamma$ が分泌されることを確認した。現在、本研究に参加していただく症例を集積中である。